

医療ニーズ;体重測定機能も備えた検査機器



医療ニーズ提案部門
滋賀医科大学 附属病院 放射線部

「寝た状態で体重測定がしたい」

■放射線部ホームページ

http://www.shiga-med.ac.jp/hospital/doc/department/central_clinic/radiology_dep/index.html

■ニーズの背景

- 造影剤という特殊な物質を使って撮影をする際は、造影剤を体内に注射するが、造影剤は体重あたりで使用量が決まっている。なぜならば造影剤は量を間違えると体に大きな害をもたらすからだ。
- 救急の場面でも造影剤は頻繁に使われるが、意識がなく、患者が自ら体重計に乗れなかったり、体重を申告できないことがある。
- もし寝た状態で体重をはかれる機能がついていれば、速やかに適切な造影剤量を計算できる。

■現在の対応方法

- 患者の付き添いの人から体重を聞く。
- 患者の体型からおおよその体重を予想する。

■使用頻度や市場性(マーケットサイズ)に関する情報

- 本院での使用頻度: CT装置3台、MRI2台、血管撮影台2台
- 出典: <http://www.shigamed.ac.jp/hospital/doc/brochure/information2015/files/assets/common/downloads/2015.pdf>

【イメージ・参考例】 実際の機器

体重測定機能が付いていないCT装置



機能アイデア例

- 備え付けで体重測定機能の追加
- 後付けの体重測定機能
- 造影剤の投与量が表示できる機能

お問合せ先

滋賀医科大学 研究推進課 産学連携係

電話: 077-548-2847

メール: hqsangaku@belle.shiga-med.ac.jp